

製品名: TRAF4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19187**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	TRAF4 TRAF4; CART1; MLN62; RNF83; TNF receptor-associated factor 4; Cysteine-rich domain associated with RING and Traf domains protein 1; Metastatic lymph node gene 62 protein; MLN 62; RING finger protein 83
別名	
遺伝子 ID	9618.0
SwissProt ID	Q9BUZ4
免疫原	抗血清はヒト TRAF4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 261-310

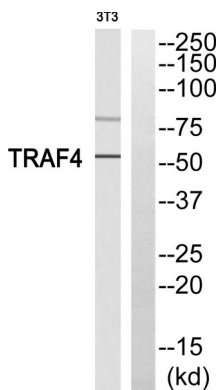
背景

TNF 受容体関連因子 4 (TRAF4) ホモサピエンス この遺伝子は、TNF 受容体関連因子 (TRAF) ファミリーのメンバーをコードしています。TRAF タンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーと関連し、それらのメンバーからのシグナル伝達を媒介します。コードされているタンパク質は、神経栄養因子受容体 p75 (NTR/NTSR1) と相互作用し、NTR 誘導性細胞死および NF-κB 活性化を負に制御することが示されています。このタンパク質は、NAD (P) H オキシダーゼとして知られる多タンパク質複合体に含まれる細胞質制御因子である p47phox に結合することが分かっています。したがって、このタンパク質は MAPK8/JNK の酸化活性化に関与していると考えられています。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されていますが、全長の性質が決定されているのは 1 つだけです。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],ドメイン: コイルドコイルドメインは、ホモおよびヘテロオリゴマー形成を媒介します。、ドメイン: MATH/TRAF ドメインは受容体細胞質ドメインに結合します。、機能: 受容体細胞質ドメインおよびキナーゼとの関連により、腫瘍壊死因子受容体ファミリーのメンバーをさまざまなシグナル伝達経路にリンクするアダプタータンパク質およびシグナル伝達物質です。NF-κB および JNK の活性化を媒介し、アポトーシスに関与していると考えられます。呼吸器の発達に役割を果たしている可能性があります。、類似性: 1 つの MATH ドメインを含みます。、類似性: 1 つの RING 型ジンクフィンガーを含みます。、類似性: 3 つの TRAF 型ジンクフィンガーを含みます。、サブユニット: ホモ三量体 (おそらく)。LTBR/TNFRSF3 および NGFR/TNFRSF16 と関連します。TGFB111 と相互作用する。、組織特異性:胸腺上皮細胞、リンパ節樹状細胞、表皮、鼻咽頭、呼吸器、唾液腺、食道などの上皮の基底細胞層で発現する。、

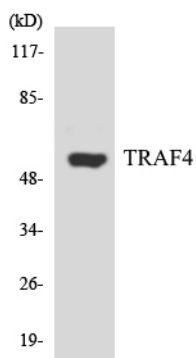
研究分野

がんの経路;小細胞肺がん;

画像データ



TRAF4 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが TRAF4 ペプチドでブロッキングされている。



TRAF4 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

